



# Movement Letter .3

## カフェ風の会場で、ワークショップを。まずは何から始めようか。



アドバイザーの市野めぐみです。2月16日(日)午後。中央公民館 301号室で、“まちこれWS”☆ムーブメントの起こし方☆の第3回を開催しました。参加者は23名の皆さん。

早いもので、今回でこの“まちこれWS”も最終回。前回話し合ったA・B・C・D4つのプロジェクトをもう少し具体的に。まず、私市野から具体的な計画の作り方として、知多市の手作りカフェ「あーだ・こーだ」の事例を紹介しました。

その後、阿久比町の行政が行っている「住民税1%町民予算枠制度」の説明を政策協働課のグッチからしてもらいました。その後、いよいよワークショップに。参加者みなさんの何とかカタチにしていきたい。今後もつなげていきたいという強い想いが会場一杯に。果たして、このWSから実際のムーブメントは起こるのか？

起きちゃいますね～これは(笑)私も一緒に伴走します。

### 「住民税1%町民予算枠制度」



参画と協働でつくる自立したまちづくりを進めるため、町民のみなさんからのご提案や公益的なまちづくり活動を支援する仕組みです。

個人住民税の1%を財源に充て「わくわくアイデア事業(住民提案・行政実施)」「わくわくコラボ事業(住民提案・住民実施・行政からの補助金支援)」それぞれの事業を募集・実施しています。

阿久比町では、みんなでつくる参画と協働のまちを目指しています。制度を上手く活用して、自分たちの暮らす阿久比のまちと一緒により良く・面白くしていきたいでしょう！

竹内町長 あいさつ



本日初参加の方～自己紹介～  
神谷素満町長さんがWSに参加しました。

### わくわくコラボ事業

ココが POINT !

- ・メンバーは5人以上(うち半数が町民)
- ・阿久比町で行う、公益的なまちづくり事業(年度内に完了)
- ・公開ヒアリングや事業報告会への出席
- ・経常的な運営費(人件費など)は対象外
- ・補助金は7割を概算払で支払可

お金ありきの事業ではなく、何かやりたい・始めたい想いをカタチにするときのツールがこの制度です。

自分たちが、

できる事から始めよう。

3

1. 初めの方 自己紹介
2. 具体的な計画の作り方
3. 住民税1%町民予算枠制度
4. ワークショップ  
プランづくり後半
5. グループ発表
6. つながる連絡交換会



# WORKSHOP

# 果たして、ムーブメントは起きるのか！？

## A：子どもを中心にした場づくりプロジェクト

温子知親 ～ずっと阿久比に住みたいくて～

学び・マルシェ・体験・カフェが重なり合う  
【手作り】【交流】【農作業】【昔遊び】【伝統行事】

- ◎子どもたちに伝えたいことがある
- ◎子どもから学ぶことがある
- ◎子どもに感じて欲しいことがある
- ◎子どもに残したいことがある

ゴール:世代間交流・同世代交流  
阿久比のひと・物・事をもっと知ってもらおう

まずは・・・  
親子で参加し（阿久比米を利用した）米粉で粘土遊びを楽しみながら、「おこしもの」づくりの体験



## B：農家マルシェプロジェクト

- ◎キキ米コンテスト（米の食べくらべ）
- ◎お弁当コンテスト（地産地消のおかず）
- ◎阿久比農ガールズコレクション  
ファッション重視、おしゃれ感  
10代20代、親子を取り込もう。
- ◎アグピーおやき や 米粉クレープ  
米粉や阿久比産の野菜をたっぷり入れる。

まずは・・・  
既存のお祭り（農業まつりや産業まつり）へのブース出展



## C：ふれあいの森を活用したプロジェクト

小さな賑わいをつくろう！

- ◎ホテルのガイドツアーズ（公園の駐車場不足を逆に！）  
ホテルを見ながら歩いて森を目指す。  
途中スマホで写メ（投稿することで特典）
- ◎ホテル観察会 夜だけでなく昼からまつりをつくろう！  
☆野外音楽会（フォーク・スカ・ボサノバ・DJ）  
素人からプロまで「音」をキーワードに  
芝生で飲食やビールが飲みたい。  
アルコール以外にも酢や梅のジュースもいい。
- ☆軽トラ市やフリマ、ワークショップ（A・B班の協力）
- ◎小さな森の小さなアート展  
観察会時期に、アート作品を公園内に展示（場の提供）

まずは「好き」な人たちを集めよう。人脈も広げよう。



## D：ムーブメント応援隊

オンラインとオフラインで  
踊り手とフォロワーを結びつけるシステム作り

オンライン：ホームページ 24時間365日OK  
オフライン：直接あって話しあい 喫茶店など

イメージは  
「ムーブメントを応援する 情報サイト」  
立上げ！

情報のストックが重要になる。  
情報の管理も大事。

## MEGUMI からのエール

まちを面白くするためになぜムーブメントを起こしたいと思うのか、他者に言葉で表現するために自分の想いを整理する。実はこれってかなりの時間が必要です。

さらに、理想のまちを一緒に描くためには前提条件に食い違いがないか、共通点を見出すまでメンバー各人の想いをすべて洗い出し、合意する作業が必要になります。

ただ、今回集まったみなさんはムーブメントを起したい「志民」だから「この指とまれ方式」で「実践しながら目標・計画も手直し」の合意ができました。班毎の事務局もできたので、このWSが終わった後のつながりもきっと大丈夫でしょう。

話し合うみなさんの姿から郷土愛をひしひしと感じながら、ご一緒させていただいたことに感謝申し上げます。

今後も、みなさんの活動を引き続き伴走支援させていただければ幸いです。



自分の暮らすまちについて考え、仲間と出会い、できる行動をする。  
ムーブメントは、もう始まっています。

## 最終回（2月16日）のふりかえりシートより抜粋 みなさん本当にありがとうございました

- ・最初と最後、気持ちや考え方が驚異的とはいえませんが、多少変わった様な気がした。
- ・面白い3回でした。考え方も経営と一緒に勉強になりました。
- ・具体的に現状の身の丈にあった内容を考えていくことが大事だと思いました。
- ・途中、話しが大きくなってしまいましたが、最後は現実っぽくなってきた。
- ・今後チームごとにゆるやかに集まりを持ちながら、競い合っ楽しみながら進めていけるといいのかなあとと思います。
- ・最初に制度の話があったので、「やろう！」という流れができた。一方で、お金ありきにならないか少し心配になりました。
- ・せっかく出会ったメンバーです。一緒にムーブメントを起こしていきたいです。

